



## 熊沢直紀 議員

Naoki Kumazawa



9月定例会

議案質疑

討論

トピックス

一般質問

追跡

# Q.地震・豪雨対策は万全か A.指定避難所の耐震化は完了している

東海地方においては、マグニチュード8以上の南海トラフ地震が、30年以内に70%の確率で起きるであろうと予測されている。

また、毎年の台風や集中豪雨により、床上床下浸水が頻繁に起きている。改めて災害対策は万全かを問う。

**Q** 指定避難所の各施設の耐震化は、大丈夫か。

**A** 総務部長  
13カ所すべての耐震工事が完了している。

**Q** 災害時には水と電気が不可欠であるが、主要な公共施設（庁舎）に井戸を設けてはどうか。また、予備電源の設置状況はどうか。

**A** 総務部長  
水は十分備蓄しており、井戸の設置は必要ないと考える。予備電源については、庁舎と社会教育センターに非常

用電源装置を装備している。その他は、小型の発電機を配備している。

8月2日の集中豪雨で、町道329号線の道路（八所神社前の東西の道路）があったという間に川の様になった。毎年台風時期になれば、何度も同じ様な状態になる。今もって、町道329号線の雨水対策は、根本的に改善されていない。

今後、どの様に改善するのか。

**A** 産業建設部長  
中庄路川への流れの分散化や、農業用水路の自動開閉化を行ってきた。

**Q** その対策の具体案として、中庄路川下流の新栄西部児童遊園に、雨水調整池を設けるべきだがどうか。そこがだめなら町道329号線の道路の下に、調整池を造ってはどうか。

29年度当初予算に、基本設計費を盛り込むべきと思うがどうか。

**A** 産業建設部長  
改めて周辺水路状況を調査し、良好な排水

機能が確保できるよう適正管理に努めていく。



▲雨水対策が待たれる町道329号線